

漁況情報 号外

平成28年9月27日発行

岩手県水産技術センター

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel:0193-26-7915 / Fax:0193-26-7920/ E-mail:CE0012@pref.iwate.jp

平成28年9月23日に、国立研究開発法人水産研究・教育機構より平成28年度 第2回太平洋スルメイカ長期漁海況予報が発表されましたので、内容を紹介します。

常磐～三陸海域におけるスルメイカの今後の見通し(平成28年10月～12月)

- 1 来遊量:前年を下回る
- 2 漁期・漁場:対象期間を通じて漁場となる
- 3 魚体:前年並

<予報の説明(抜粋)>

対象魚種:スルメイカ

対象海域:常磐～三陸海域

対象漁業:いか釣り、底びき網、定置網

対象魚群:主に冬季発生系群(2016年級)

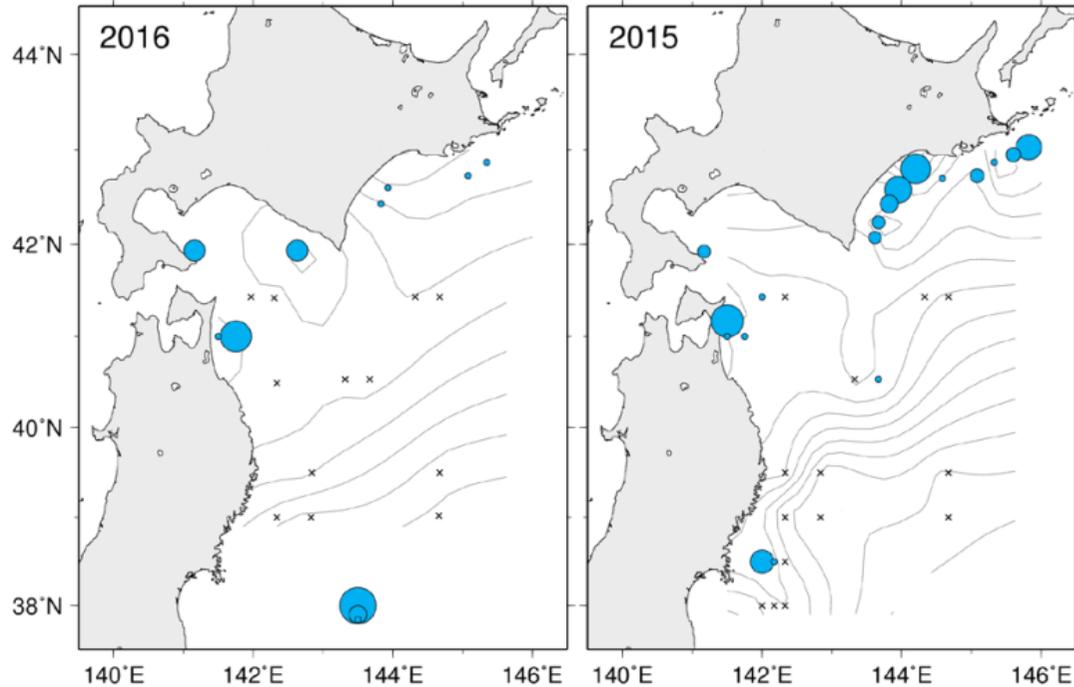


図1. 太平洋第2次漁場一斉調査および道東太平洋スルメイカ資源調査の結果
2015年8月(右図)、2016年8月～9月(左図)のいか釣りによるスルメイカのCPUE
(いか釣り機1台1時間当たり漁獲尾数)の分布
×は漁獲が無かった点、実線は調査船での観測結果に基づいた海表面水温の等温線を示す

この海域の漁獲対象資源は、常磐～三陸海域に分布する群と道東太平洋海域から南下する群が主体と考えられる。

常磐～三陸海域において漁場一斉調査による漁獲はなく(図1)、青森県白糠以南における7月～8月の小型いか釣り船CPUEは前年並～下回ったことから、常磐～三陸海域に分布する群は前年を下回ると考えられる。また、道東太平洋海域への来遊量は前年を下回ると予測されることから、常磐～三陸周辺海域への来遊量は前年を下回ると予測される。同海域では漁場一斉調査による漁獲が無かったが、道東太平洋海域での調査結果から、魚体の大きさは前年並になると考えられる。

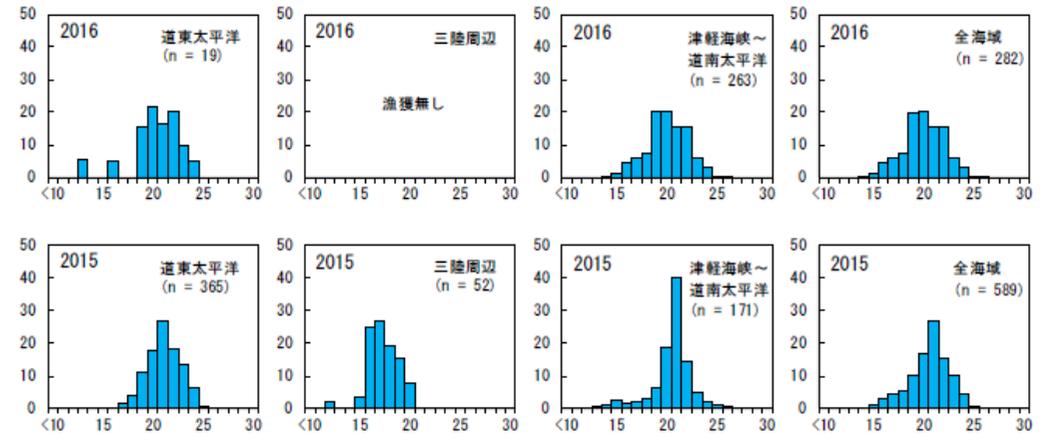


図2. 太平洋第2次漁場一斉調査および道東太平洋スルメイカ資源調査による外套背長組成の結果

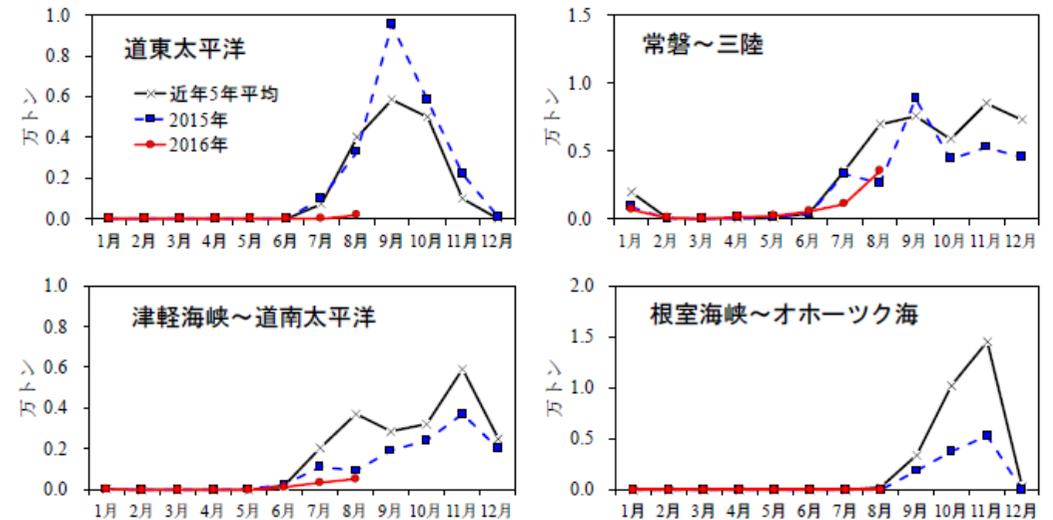


図3. スルメイカの月別海域別漁獲量(生鮮)
近年5年平均は2011年～2015年の平均(釣り・定置網・底びき網・まき網)

ご意見などは漁業資源部(担当:高梨)までお寄せください。
本予報の詳細については、国立研究開発法人水産研究・教育機構ホームページ(URL:
<http://abchan.fra.go.jp/>)をご参照下さいますようお願い申し上げます。